

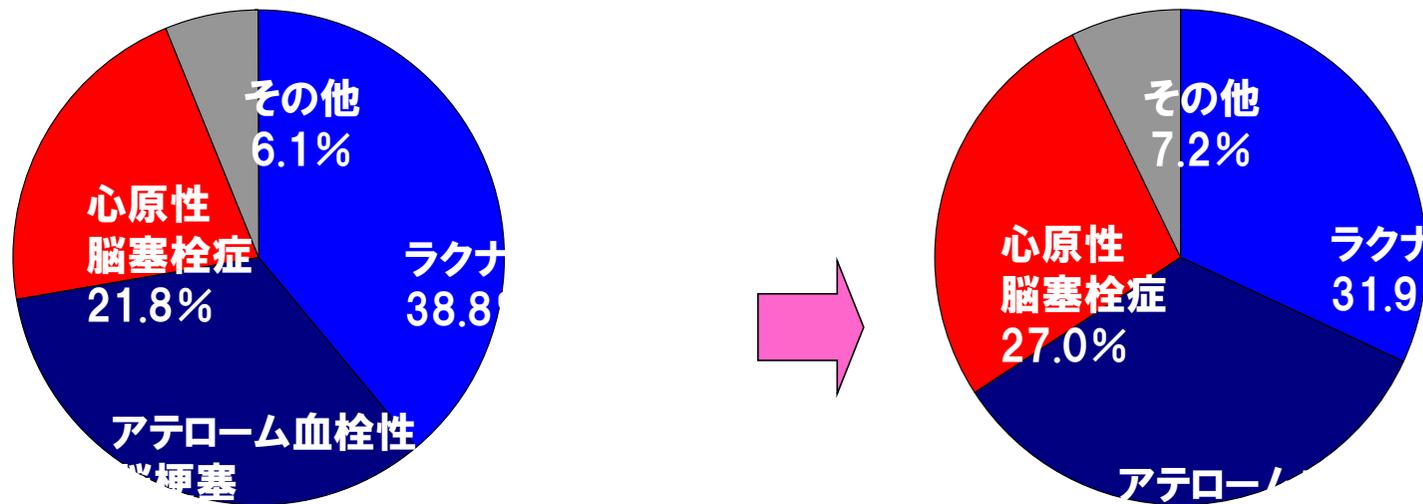
心電図検査の現状

ちば県民保健予防財団

角南 祐子

脳梗塞の病型頻度では、心原性脳塞栓症が増加

日本人の脳梗塞の分類



J-MUSIC (1999-2000)

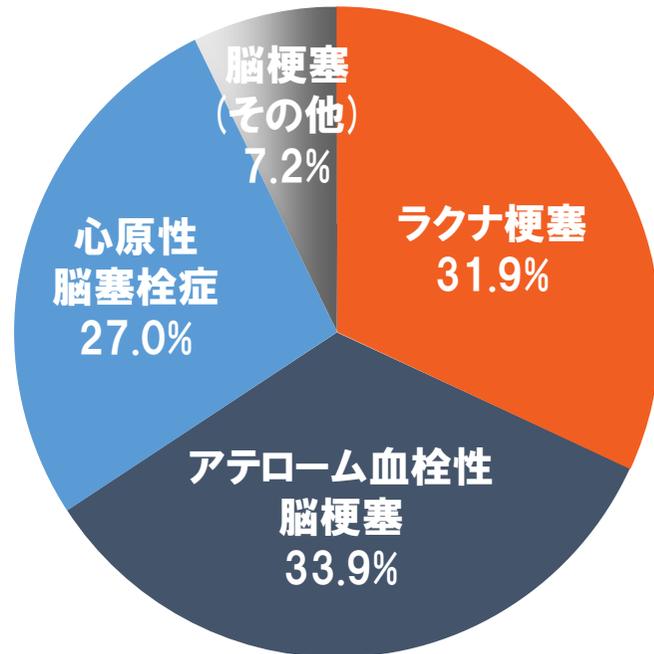
脳卒中データバンク2009

J-MUSIC. Japan Multicenter Stroke Investigators' Collaboration

心原性脳塞栓症は年々増加しているとともに、
他の病型と比べて予後不良です

脳梗塞の内訳(脳卒中データバンク、n=33,953) 脳梗塞の病型別にみた退院時の重症度

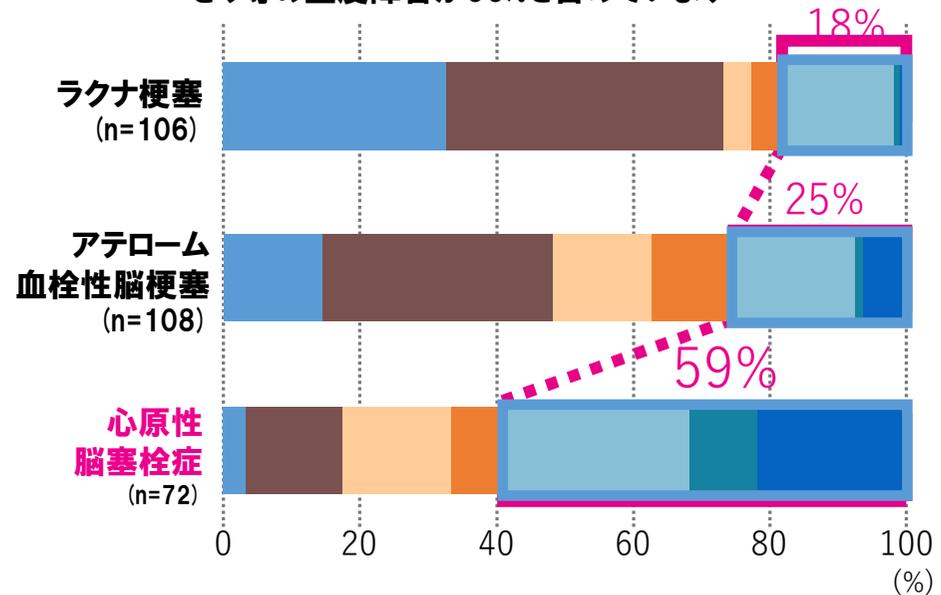
脳梗塞を発症した患者のうち、心原性脳塞栓症の占める割合は年々増加しています



対象:「脳卒中データバンク」の登録患者データより、虚血性脳血管障害患者 33,953例(全体45,021例の75%)

福田準ら.:脳卒中データバンク2009,中山書店;p.22-23.

mRS評価では、心原性脳塞栓症において死亡や寝たきり等の重度障害が59%を占めています



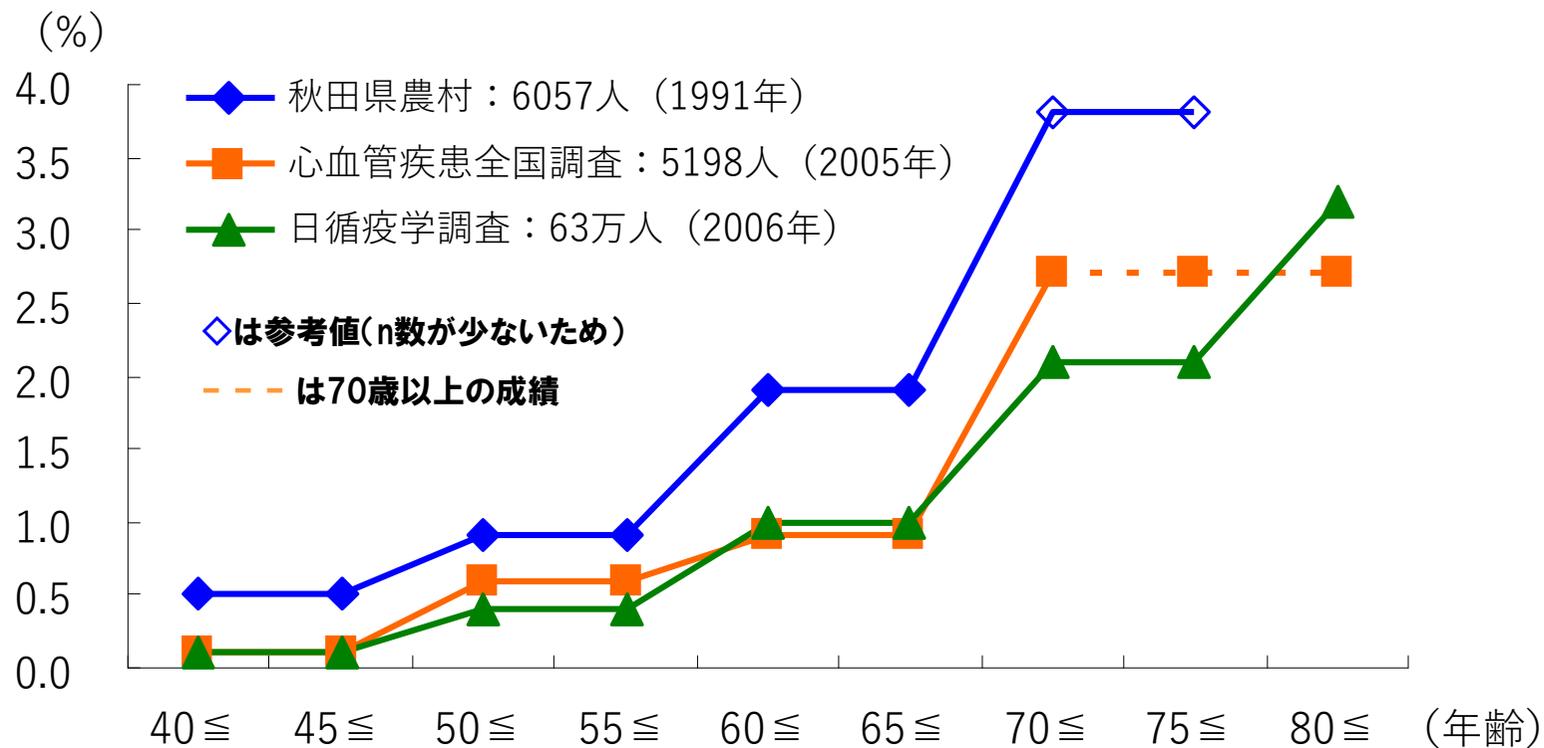
対象:弘前脳卒中センターに入院した脳梗塞患者279例

方法:退院時の重症度をmodified Rankin Scale (mRS) にて評価

奥村謙ら.:CLINICIAN 2007:557:343-353.

心房細動の有病率は加齢とともに上昇する

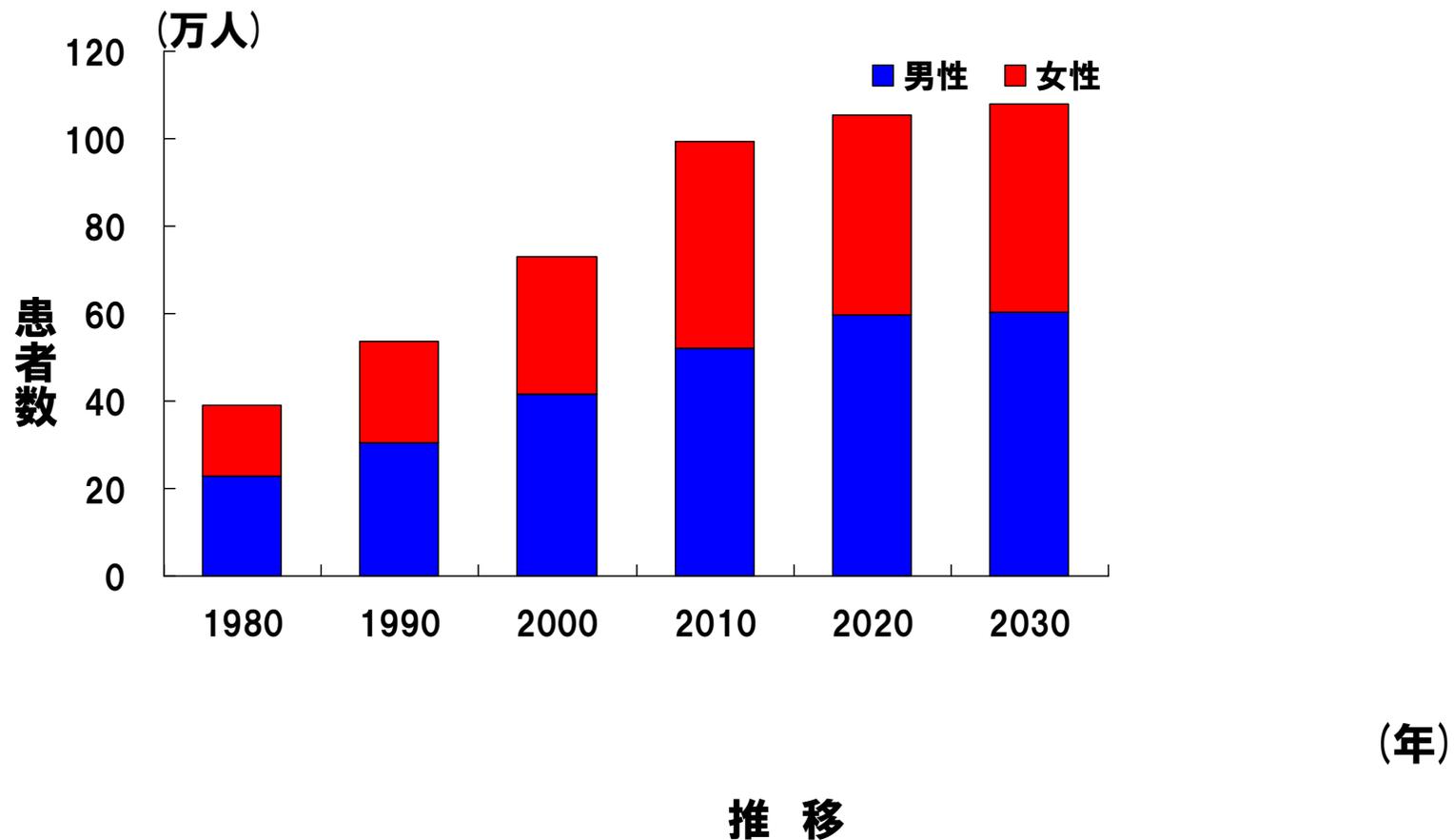
・心房細動有病率 一本邦における調査結果ー



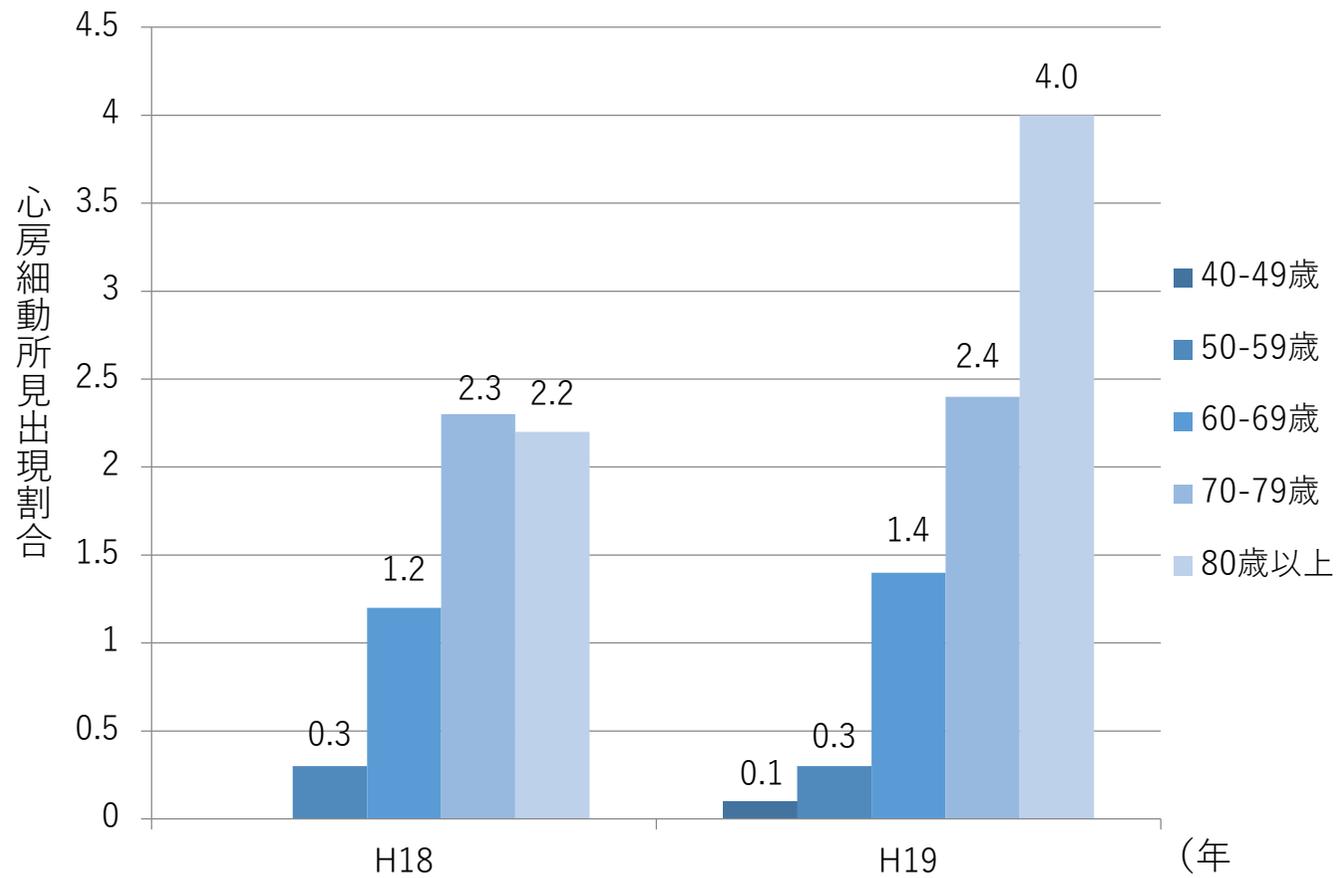
北村明彦ほか：日本公衛誌1991；38：95-105。
Ohsawa M, et al.：J Epidemiol 2005；15：194-196。
Inoue H, et al.：Int J Cardiol 2008 (e-Pub)
より作図

高齢者の増加に伴い心房細動も増加

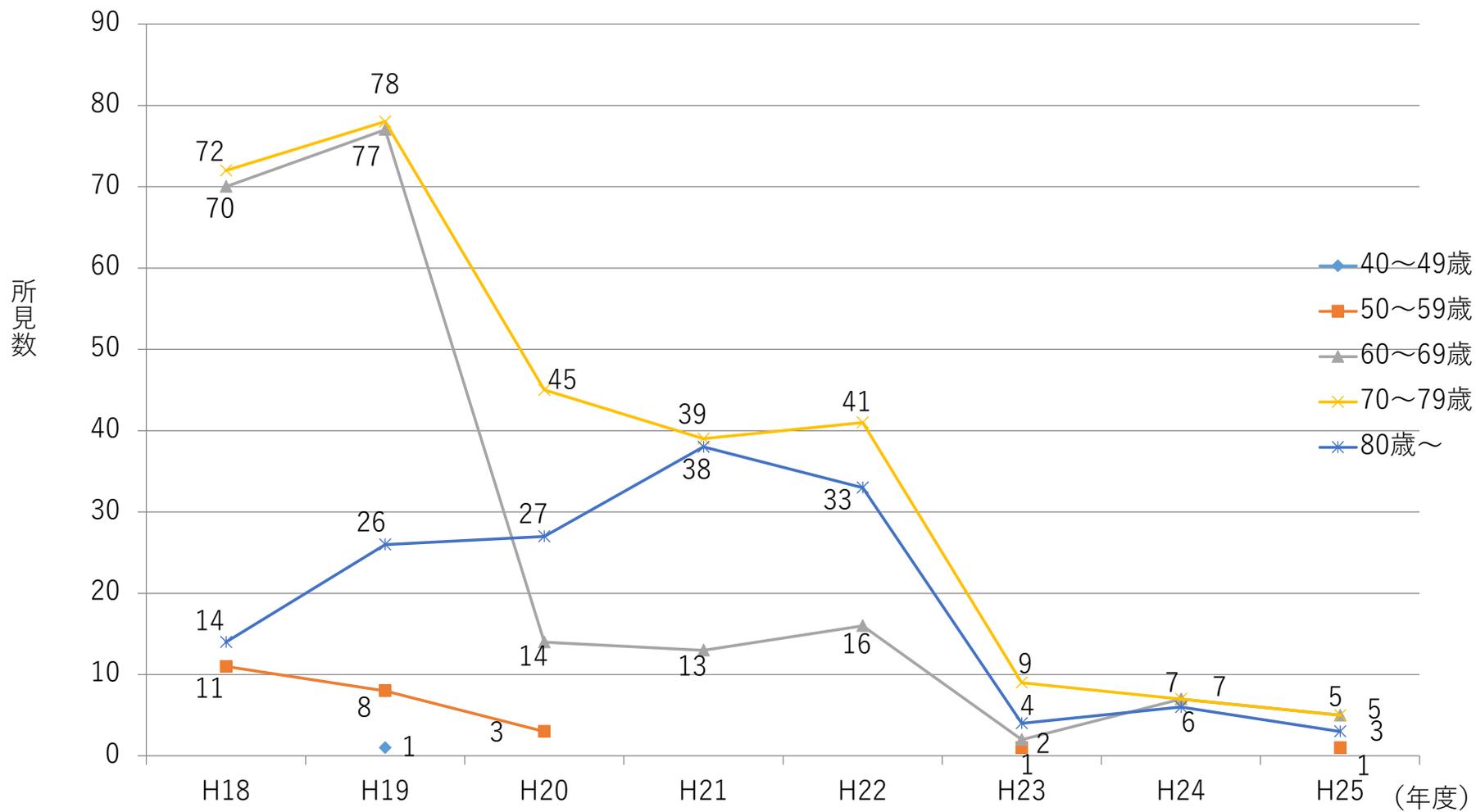
日本における慢性心房細動患者数の推移および今後の予測



平成18～19年度 ちば県民保健予防財団実施の住民健診
心電図検査受診者における年齢階級別の心房細動有所見
率



ちば県民保健予防財団実施の住民健診心電図検査受診者における平成18
 ~25年度心房細動所見数推移 (H18~H25に継続して健診実施した8市町対象)



項目		協会けんぽの生活習慣病予防健診	労働安全衛生法での定期健康診断	特定健診
診 察 等	問診(既往症、自覚症状、他覚症状を含む)	○	○	○
	身長	○	■	○
	体重	○	○	○
	肥満度・標準体重	○	○	○
	腹囲	○	○※2	○
	理学的所見(身体診察)	○	○	○
	血圧(収縮期・拡張期)	○	○	○
脂 質	総コレステロール	○		
	中性脂肪	○	○※1	○
	HDLコレステロール	○	○※1	○
	LDLコレステロールまたはnon-HDLコレステロール	○	○※1	○
肝 機 能	GOT (AST)	○	○※1	○
	GPT (ALT)	○	○※1	○
	γ-GTP (γ-GT)	○	○※1	○
	ALP	○		
代 謝 系	空腹時血糖またはヘモグロビンA1cまたは随時血糖	○	○※1	○
	尿糖	○	○	○
	尿酸	○		
血 液 一 般	ヘマトクリット値	○		■
	血色素判定	○	○※1	■
	赤血球数	○	○※1	■
尿・腎機能	尿蛋白	○	○	○
	尿潜血	○		■
	血清クレアチニン	○		■
	eGFR	○		■
生 理 学 検 査	視力	○	○	
	聴力	○	○	
	心電図	○	○※1	■
	胸部X線検査	○	○	
	上部消化管X線検査	○		
	胃部X線検査・胃部内視鏡検査	○		
	眼底検査	■		■
	喀痰検査		■	
その他保険者が任意に行う検査	便潜血	○		
	HCV抗体検査	◆		
	HBs抗原検査	◆		
	子宮頸がん 乳がん	△ △		
医師の判断	医師の判断(判定)	○	○	○

○ …… 必須項目
 ■ …… 医師の判断に基づき選択的に実施する項目
 ◆ …… 以前に受けたことがないという条件付きで実施
 △ …… 希望により実施する項目
 ※1 …… 35歳を除く40歳未満者が医師の判断で省略できる項目
 ※2 …… 35歳を除く40歳未満者、妊婦などが医師の判断で省略できる項目

市町村のがん検診の項目について

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日付け健発第0331058号厚生労働省健康局長通知別添)を定め、市町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

指針で定めるがん検診の内容

種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査については年1回実施可
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上	2年に1回
肺がん検診	質問(問診)、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上	年1回
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査(マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上	2年に1回
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上	年1回